

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 設楽町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考		
				目標①			目標②			得られた効果	総合評価	A	事業評価	A B C D評価				今後の展開・改善点等	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値					自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模等細企業を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問をし、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者をはじめとした経営全般に関わる相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	巡回指導 実企業数60件（うち非会員3件） 延回数 123件（うち非会員3件） 窓口指導 実企業 108件（うち非会員7件） 延回数 313件（うち非会員12件） 創業相談指導 実企業数1件 延回数2件 課題解決提案件数 6件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 97.3 %)	指標 課題解決提案件数 (達成度 100.0 %)	経営及び技術の改善、健全な企業の育成。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への 調査結果 A 必要性 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	本年同様数値を目標とし、計画的に効率よく事業を実施する。			
記帳継続指導事業	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導や決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	記帳機械化の利用普及 複式簿記による記帳指導 企業数 48企業 指導回数 203回 指導回数 737回	小規模事業者	指標 記帳指導事業所数 (達成度 104.3 %)	指標 記帳指導延べ回数 (達成度 113.4 %)	複式簿記による正しい経理処理及び計数管理による経営力の向上。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 調査結果 A 必要性 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	本年度同様数値を目標とし、複式簿記による正しい経理を指導し、数値をもとに経営力の向上になるよう指導を実施する。			
講習会指導事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	集団指導：税制改正など毎年行う講習会及び時事的な問題などに対応した講習会を年12回開催。参加人員116名。 個別指導：金融相談指導を中心とした講習会を年1回開催。参加人員3名。	小規模事業者	指標 集団指導参加事業所数 (達成度 165.7 %)	指標 個別指導事業所数 (達成度 60.0 %)	知識習得による事業主の資質向上。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 調査結果 B 必要性 A	満足度 B 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	本年同様数値を目標とし、計画的に効率よく事業を実施する。			
産業活性化事業	それぞれの地域の特性を活かした地域資源の活用や、特産品の開発普及・PRなどを行い、また、地産地消の推進などを行うことにより、企業の発展及び地域産業の活性化に資することを目的とする。小規模事業者の持続的な発展を支援するため、販路開拓と認知度の向上を図る。	商工会商品券事業の支援 地域特産品のPR及び出張販売 (事業参加事業所数 82事業所)	小規模事業者	指標 事業参加事業所数 (達成度 126.2 %)	指標 (達成度 %)	地域の特性を生かした特産品の開発及びPRを行い、企業の発展及び地域産業の活性化。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 調査結果 A 必要性 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	本年同様、地域特産品、観光資源のPRを積極的にを行う。			
青年部・女性部事業	青年部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	青年部事業（実施回数19回） 9月3日4日 ハツ場ダム視察研修旅行 10人 11月20日 町民ゴルフ大会 6人	小規模事業者	指標 青年部事業実施回数 (達成度 73.1 %)	指標 (達成度 %)	部員間での情報交換及び研修会による知識向上。各種事業による地域社会への発展寄与。	総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 調査結果 B 必要性 A	満足度 B 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	本年同様数値を目標とし、計画的に効率よく事業を実施する。			
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種届出等の事務手続きを行うことにより、中小企業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険適用促進及び労働保険の適正な徴収を図ることを目的とする。	労働保険事務委託事業所の労働保険料の申告納付。 その他の労働保険に関する各種届出等の事務処理。 労働保険の適用促進及び加入勧奨。 委託事業所数 44事業所 対象従業員数 116名	小規模事業者	指標 委託事業所数 (達成度 102.3 %)	指標 (達成度 %)	青色申告会、法人会、食材搬入組合、食品衛生協会、寒狭川上流漁業の活動をサポートし、事業運営に協力することにより地域社会発展のための一助となり商工業の発展につなげた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 調査結果 A 必要性 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	本年度同様数値を目標とし、達成率を上げるよう実施する。			
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済の普及や従業員の健康診断事業の実施等、企業の安全な育成に資することを目的とする。	各種共済制度の加入促進及びPR。 共済加入者数 291件 従業員の健康診断事業を8月に実施。 健康診断実施事業所数 33件 健康診断実施者数 176名	小規模事業者	指標 共済加入者数 (達成度 95.1 %)	指標 従業員健康診断実施企業数 (達成度 137.5 %)	労働保険の事務を委託することによる事業主の事務処理の負担の軽減。適用促進による事業主の労働雇用問題の解消。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 調査結果 A 必要性 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	本年同様数値を目標とし、適正な労働保険事務委託業務に努める。			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 設楽町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考							
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等								
				指標	事業所加入件数 (達成度 77.5 %)		指標	(達成度 %)		総合評価	A	事業 実施 評価	自己評価	目標達成度	調査結果 事業者への	満足度		補足	目標①	目標②				
産業団体	発展会や各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	設楽青色申告会61名、新城法人会設楽ブロック45名、設楽食材搬入組合10名、食品衛生協会設楽分会38名、寒狭川上流漁業協同組合1名の活動をサポートし、事業運営に協力する。	小規模事業者	指標	200	実績 数値	155	指標									実績 数値			各種共済制度の普及による福利厚生の充実及び経営の安定化。 健康診断実施により事業主及び従業員の健康管理。	総合評価	A	事業 実施 評価	自己評価
若手後継者育成事業	商工業者の後継者である青年に対し、経営に必要な知識の修得や資質の向上を図る為の講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を目的とする。	講習会①：事業復活支援金説明会 講師：野口隼志氏 日時：4月12日(火) 参加者：14名（内小規模事業者数14名） 講習会②：ふるさと納税活用&相談セミナー 講師：前川和治氏、野口隼志氏 日時：1月13日(金) 参加者：14名（内小規模事業者数12名） 全国大会参加 日時：11月15日(火)～16日(休) 場所：熊本城ホール4階メインホール他 参加者：正木部長、近藤副会長、高橋副会長 新城設楽支部5商工会による奥三河チキンレース 参加事業所：13事業所	小規模事業者	指標	講習会への参加者数 (達成度 280.0 %)	指標	講習会参加者満足度 (達成度 125.0 %)	講習会及び全国大会参加による知識習得及び自己啓発の向上。 5商工会によるおくみかわチキンレース事業を行った。PRにより販路拡大に繋がった。	総合評価	A	事業 実施 評価	自己評価	A	調査結果 事業者への	満足度	B	補足	目標①	目標②	本年同様、計画的に事業を実施する。				
				目標 数値	10	実績 数値	28	目標 数値	80	実績 数値	100					目標達成度	A	調査結果 事業者への	必要性	A	目標①	目標②		
																					実施方法①	実施方法②		
																					実施方法①	実施方法②		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。